

今すぐできる夏の節電メニュー Menu

Menu 1 テレビ

- 省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消す◇削減消費電力25W◇削減率2%（標準から省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合）
*リモコンの電源ではなく主電源を切りましょう。



Menu 2 エアコン

- 室温を28℃に◇削減消費電力130W◇削減率10%（設定温度を2℃上げた場合）
- 部屋の外に「すだれ」や「よしず」を設置し、日差しを和らげる◇削減消費電力120W◇削減率10%
- 無理のない範囲で扇風機に切り替える◇削減消費電力600W◇削減率50%



Menu 3 冷蔵庫

- 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変えて、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まないようにする◇削減消費電力25W◇削減率2%



Menu 4 トイレ 温水洗浄便座

- 便座保温・温水のオフ機能やタイマー節電機能を利用。また、機能がなければコンセントからプラグを抜く◇削減消費電力5W◇削減率1%
- *貯湯式のトイレのふたを閉めておくだけで省エネの効果あり。



Menu 5 照明

- 日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らす◇削減消費電力60W◇削減率5% *点灯時の消費電力量の増加は非常に小さく、再点灯までの時間が1分でも一度消灯する方が省エネになる。



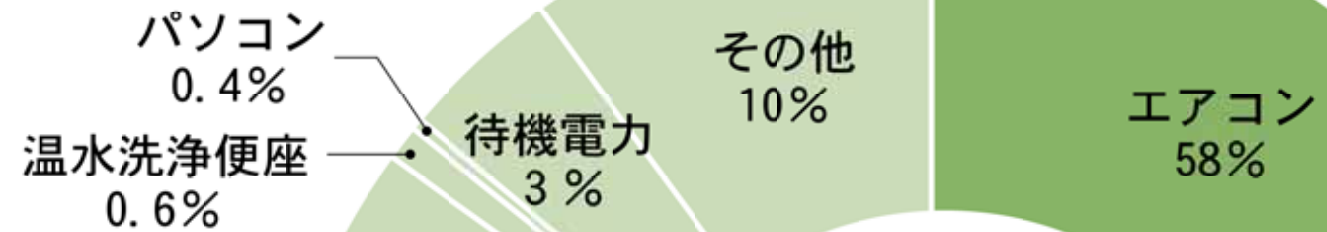
Menu 6 炊飯器

- 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存◇削減消費電力量25W◇削減率2%
- *3合を2回炊くより、6合を1回炊いた方が節電効果が高い。また、炊くときだけコンセントに入れ、使い終わったらプラグを抜きましょう。



*記載値は、在宅世帯の日中の平均消費電力（午後2時：約1,200W）に対する削減消費電力と削減率の目安（資源エネルギー庁推計）

無理せず楽しく節電
静岡地方気象台によると、今年の夏も晴れの日が多く、気温も高くなると予想されています。同気象台が発表した東海地方の7月から9月の予報によれば、同期間の平均気温は、「高い」「平年並」が約7割を占めています。期間の平日は、冷房を使う機会が増え、1日の中では、午後2時ごろに全体の電力需要が最も大きくなります。1日を通して節電を心掛けながら、特に日中の節電に努めることが大切です。しかし、節電も重要ですがきちんと体調管理を行い、熱中症などには充分気を付けなければいけません。節電や省エネへの取り組みは長く続けることが大切。我慢するのではなく、家族で楽しく取り組むことが必要です。*上記の取り組み以外にも、▼アサガオやゴーヤなどのつる植物を窓際に植えて、日光を遮断する「緑のカーテン」の設置▼個室にこもらず、同じ部屋で一家団らの時間を持つ▼早寝早起きで夜間の消費電力を抑制するなどの工夫で節電が可能です。



夏の午後2時ごろの消費電力（全世帯平均）

出展：資源エネルギー庁推計
*数値は最大需要発生日を想定



1年の電力需要のピークは真夏の日中です。ピーク時の需要は気温に大きく左右され、猛暑の場合は、特に昼休み前後の節電が重要です。大切なことは、節電を適切な状況で無理なく行うこと。夏の日中には、在宅世帯は平均およそ1200Wの電力を消費しており、エアコンがおよそ半分を占めています。消費電力の80%を占めるといふ、「エアコン」「冷蔵庫」「テレビ」の節電から、まずは始めてみましょう。

原発停止と電力不足
皆さんもご存じのとおり、東日本大震災の影響で昨年5月15日に浜岡原子力発電所の

要が最も多くなる時期です。特に、各家庭は、この夏の節電に努めましょう。

止まらない温暖化
この100年間で地球の平均気温は、0.74℃上昇しました。化石燃料に頼る現在の社会がこのまま続けば、21世紀末までに世界の気温が約4℃上がると言われています。日本の平均気温は、100年当たり約1.15℃の割合で上昇。特に、ここ最近の夏は異常ともいえるほど暑く、昨年夏のが国の平均気温は、18.9年の統計開始以降114年間で4番目の高さでした。

全原子炉が停止してから1年以上が経過しました。その後、国内の全原子炉が停止。関西電力管内で電力不足が懸念されたことを受け、福井県の大飯原子力発電所が再稼働をしました。国はこの夏の電力不足に備えるため、全国的に節電を要請。原発がない沖縄を除き、各電力会社に節電の数値目標が設定されました。中部電力管内においては、平成22年夏の使用最大電力と比較して、約5%（大飯原発の状況により4%）の節電が求められました。

笑呼なくらし。

昨年同様、深刻な電力不足が懸念されている夏。より一層の節電や、電気に頼った生活の見直しが必要とされています。地球にやさしい生活をして地球温暖化を防ぎ、皆で楽しく、「笑呼(エコ)」に取り組みしましょう。

問い合わせ
環境課 日野
☎32609



*笑呼…「エコで笑いを呼び、楽しくエコ生活を送る」という造語